

## 完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2023年7月30日

事業ID:2022S00901

事業名:埼玉県和光市の「子ども第三の居場所」常設ケアモデルにおける子どもへの体験機会の提供202

団体名:社会福祉法人エイドセンター

代表者名:代表者 田口 深雪 印

TEL:048-466-8008

事業完了日:2023年6月30日

### ■契約時

事業費総額	:	710,000 円
自己負担額	:	0 円
支援金額	:	710,000 円

■箇所は(様式3)収支計算書より自動転記

### ■事業完了時

事業費総額	:	717,993 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	7,993 円	収支計算書の緑のセルの値
支援金額	:	710,000 円	収支計算書の赤のセルの値
支援金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

### 1.事業内容

支援契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、支援契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。  
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

#### ■事業内容1

##### (1)支援契約書記載の事業内容(予定)

1. 講師を招いた特別教室の実施  
(1)期間:2022年7月20日~2023年7月30日まで毎月開催(予定)  
(2)場所:和光拠点  
(3)参加者:小学校1年生~6年生まで12名予定、各プログラム講師4名  
(4)内容:生活支援世帯、準要保護世帯を対象に、食事の提供や教育プログラムの実施を行なう

##### (2)事業完了時の事業内容(実績)

1. 講師を招いた特別教室の実施  
(1)期間:2022年7月20日~2023年7月30日まで下記回数実施  
将棋教室:12回  
音楽教室:12回  
造形教室:1回  
(2)場所:和光拠点  
(3)参加者:小学1年生~6年生までが参加  
将棋教室:平均2.4名参加  
音楽教室:平均3.8名参加  
造形教室:3名参加  
各プログラム講師  
将棋教室2~3名  
音楽教室、造形教室各1名  
(4)内容:生活支援世帯、準要保護世帯を対象に、教育プログラムの実施を行なった

##### (3)成功したこととその要因

事業を実施し成功したこと、その理由を記載してください。

各教育プログラムは4年間に渡り、毎月あるいは季節ごとに開催を継続しているため、子どもたちには「習慣化された活動」となっている。また各プログラムの開催に対し、強い期待を持って拠点を利用している児童もいた。

##### (4)失敗したこととその要因

契約時に予定したとおりに事業を実施できなかった場合は、実施できなかった理由を記載してください。

児童一人ひとりが、主体的で計画性のある放課後の過ごし方を身につけることができ、拠点の目的を果たす事が出来る児童が増えた。結果、ここを利用しない児童が増え、予定していた人数より減少。

##### (5)事業内容詳細

上記「(2)事業完了時の事業内容(実績)」の詳細について、ご記載ください。別途報告書を作成されている場合は、それを添付いただければ省略可能です。

将棋教室は毎月1~2回(曜日固定)1時間開催し、駒の動かし方から、実際に講師と対局をすることで対戦方法などの指導行なっている。ルールを身につけ、子ども同士で対局することもあった。  
音楽教室は毎月1回開催し、譜読みや楽譜の書き方だけでなく、一人ひとりに合わせてピアノの弾き方も指導している。音楽教室以外の時間では、教室で使用の楽譜に限らず、学校で教わった楽曲を含めピアノの練習に励む姿があった。  
造形教室は小学校長期休暇時のみ実施。開催の際は、子どもの年齢や発達段階に合わせたオリジナルのおもちゃ作りを中心とした工作プログラムを実施し、子どもたちの興味を引き出しながら手指の発達や、考える力、創作意欲に繋がる内容で進められていた。

## ■事業内容2

### (1)契約時の事業内容

2.季節の行事  
(1)期間:2022年7月20日～2023年3月31日までの計10回実施  
(2)場所:和光拠点  
(3)内容:スイカ割、クッキング(8月)、お楽しみ会(10月)、遠足(11月)、クリスマス会、クッキング(12月)、節分(2月)、お別れ会、遠足、クッキング(3月)の学校や家庭で経験できない季節のイベントの実施



### (2)事業内容の実施(完了)状況

2.季節の行事  
(1)期間:2022年7月20日～2023年3月31日までの計9回実施  
(2)場所:和光拠点  
(3)内容:  
①スイカ割:2022年8月29日(8名参加)  
②クッキング(フルーツポンチ):2022年10月3日(7名参加)  
③遠足:2022年11月14日(7名参加)  
④クッキング(ドーナツ):2022年12月22日(6名参加)  
⑤クリスマス会:2022年12月23日(8名参加)  
⑥節分:2023年2月3日(2名参加)  
⑦クッキング(パフェ):2023年3月29日(9名参加)  
⑧お別れ会:2023年3月30日(9名参加)  
⑨遠足:2023年3月31日(13名参加)  
学校や家庭で経験できない季節のイベントの実施

### (3)成功したこととその要因

学校や家庭では経験できない内容を企画するだけでなく、コロナ禍という状況を巧みに利用して、安全に配慮し、手軽に楽しい経験を多く企画考案した。結果、各家庭からの理解を得られ、高い参加率に繋がったと考える。また、7月に予定していたクッキングは感染症の流行に伴い中止としたが、10月にクッキング(フルーツポンチ作り)を延期して実施することができた。

### (4)失敗したこととその要因

特になし

### (5)事業内容詳細

①「スイカ割」:施設屋上にて開催。夏の青空の下、8名の児童がこれに挑戦した。なかなか割れないスイカを高学年の児童が見事割り切り、最後に参加者全員で楽しくこれを食べた。  
②「クッキング(フルーツポンチ)」:各自が好きな果物を自由に盛り付けるバイキング形式で、フルーツポンチを作って食べる企画した。好きな果物を好きなだけ盛り付けられるように用意した処、児童は皆、何度もおかわりをして食べていた。  
③「遠足」:長期休暇中、散歩で行く目的地にお弁当を持参。コロナ禍で体力が落ちていることも考慮し、目的地としては近場の行き慣れた公園を選択。行き慣れたいつもの散歩先も、お弁当を持参し、皆と一緒に食べるという非日常の一つを加えることに児童は大変喜んでた。  
④「クッキング(ドーナツ)」:油を使用せずにできる『ドーナツメーカー』を使用し、手軽で安全にできる企画を準備した。児童たちは生地を作る工程から役割分担をしながら、自発的に企画を進め、完成したドーナツには彩りやバランスを意識したトッピングを行なうなどの工夫を凝らし、見ても楽しいドーナツ作りを実施できた。  
⑤「クリスマス会」:謎解きゲームを実施。すべて解くとクリスマスプレゼントにたどり着くというルールを施した処、友達と協力しながら答えを導き出していた。難易度が高い問題に対しても諦めず、高学年がリードしながら謎解きを楽しんでいた。  
⑥節分:2名のみ参加だったが、職員が鬼に扮装し豆まきを実施した。  
⑦「クッキング(パフェ)」:バイキング形式で、ブロック型のスポンジを容器に盛り付け、クリームやチョコレート、ビスケットなどのトッピングをできるように進めた。自分たちで作るおやつは格別なようで、2回、3回とトッピングを変えながら作って食べることを楽しんでた。  
⑧「お別れ会」:6年生2名の児童を送るための会を開催。在籍児童から一人ひとりメッセージを伝えたり、拠点を『卒所』するため『卒所証書』を授与した。また、拠点から卒所祝いとして、児童および職員のメッセージや写真を貼った色紙をプレゼントした。  
⑨「遠足」:児童から「行きたい」と提案が上がっていた近隣の公園に決定する。固定遊具だけでなく、ボールを使える場所があることを楽しみにしていた。当日は普段拠点でできないサッカーをチーム対抗で行ない、全身でこれを楽しんでいた。

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

3. クッキング  
(1)期間:年3回  
(2)場所:埼玉県和光拠点  
(3)対象:子ども11名  
(4)内容:日常生活で実践できることを目的に、基本的な調理方法を獲得する料理教室の実施



(2)事業内容の実施(完了)状況

3. クッキング(年間3回)  
(1)期間  
①2022年10月3日:フルーツポンチ  
②2022年12月22日:ドーナツ  
③2023年3月29日:パフェ  
(2)場所:和光拠点  
(3)内容:基本的な調理方法を知り、日常生活での実践や活用に繋がられるようにする。また、クッキングに必要な調理器具の購入をする(ドーナツメーカー)  
○ドーナツメーカー購入

(3)成功したこととその要因

管理栄養士と相談し、コロナ禍という状況も踏まえ、衛生面で安全にできるものを考案する。調理工程は一人ひとりが各自行うことで安全に進められるようにした。また、手軽にできることで放課後拠点に登所してから実行しやすかった。

(4)失敗したこととその要因

特になし

(5)事業内容詳細

①～③については、コロナ禍を考慮して安全にクッキングを楽しめる内容を企画・考案した。拠点で提供している『おやつ』に注目し、手軽に楽しめるバイキング形式で実施することができた。

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

4. 子どもの知育や運動にかかる物品の購入  
 内容: 児童の成長に欠かせない図書などの購入と、  
 運動不足を解消するための運動器具や室内でも体  
 を動かせる運動器具の購入を行なう



(2)事業内容の実施(完了)状況

4. 子どもの知育や運動にかかる物品の購入  
 ○学習支援教材の書籍を購入  
 内容: 児童の成長に欠かせない図書などの購入と、  
 運動不足を解消するための運動器具や室内でも体  
 を動かせる運動器具の購入を行なった

(3)成功したこととその要因

在籍児童の発達状況や課題等に考慮し、考える力や集中力を養うための書籍を購入した。宿題に加えて日々取り組むことで課題解決に向けての力が積み重なった。

(4)失敗したこととその要因

特になし

(5)事業内容詳細

在籍児童の発達状況や課題等に考慮し、考える力や集中力を養うための書籍(ワーク)を購入し、一人ひとりの課題に合わせて実施した。運動器具の購入はしなかった。

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)支援契約書記載の目標

支援契約書と一緒に綴じている「事業計画」の目標欄の内容を転記してください。

1. 5人の講師を招聘して、子どもたちに特別なプログラムを提供する
2. 季節の行事(スイカ割、お楽しみ会、遠足、クリスマス、節分、お別れ会)
3. クッキング(年間3回)
4. 子どもの知育や運動にかかる物品

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	444	文字数チェック	OK
事業完了後の目標達成状況を700文字以内で明記してください。 ※目標を複数設定している場合は、各目標ごとの達成状況を個別に記入してください。 【1の達成状況】参加児童は減少したが、質の高い教室を継続的に実施することができた 【2の達成状況】児童が安全かつ楽しめる内容を企画し実行することができたことで参加率が高かった 【3の達成状況】手軽に安全に実施できる内容を企画し、予定通り実施することができた 【4の達成状況】運動にかかる物品は購入しなかったが、在籍児童の発達や課題に応じた書籍を購入し環境を整えることができた			

※700文字  
 文字数チェック  
 入力セリ

### 3.事業実施によって得られた成果

事業完了後、事業成果が実現するまでにある程度の時間を要する場合、実現すると見込まれる事業成果は「\*\*\*\*年\*\*月頃に\*\*\*\*が\*\*\*\*になっていると見込まれる」のかを記載して下さい。  
複数年計画がある場合、複数年計画の「\*\*\*\*年\*\*月頃に\*\*\*\*が\*\*\*\*になっていることを目指す」のかを、最終目標(中長期目標)として記載して下さい。  
施設や機器整備した場合、整備した数年後に見込まれる成果(例えば2年後、3年後)を設定し、「\*\*\*\*年\*\*月頃に\*\*\*\*が\*\*\*\*になっていると見込まれる」かを、中長期目標として記載して下さい。  
登所が不安定な児童(家庭)においては、継続的な登所を目指し、児童が期待を以て参加できるイベントや教育プログラムを安定的に計画し実行した。その結果、我々の狙い通りに期待を以て児童が登所するようになり、現在は安定した登所に繋がった。

### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

施設利用期間を6年生まで引き上げたことで、今までの成長過程において見られなかった児童の発達・特性が顕著に現われた。併せて保護者の養育力や家庭環境問題が浮き彫りになり、我々の高い専門性を以った対応が必要になる。子どもの成長(生育環境)に深く影響する親は、要保護・要支援家庭において、その養育能力は元より、自身の保護・支援を必要としているため、学校、地域ケア課・社会援護課、スクールソーシャルワーカー、包括支援センター、民生委員等々多くの連携および情報共有の末、既存の不具合が生じている制度の抜本的見直しを進めながら担当者会議の画期的活用を対応案として挙げる。

### 5.事業成果物

#### (1)支援契約書記載の成果物名称

支援契約書記載の成果物名称を転記してください。  
報告書



#### (2)事業完了時の成果物名称

実際に作成した成果物の名称を記載してください。  
※チラシ、ポスター等の印刷物については作成枚数を追記いただけますようお願いいたします。  
・完了報告書

#### (3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。  
特になし

#### (4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ [https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra\\_gui\\_01-1.pdf](https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf) (なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)  
<https://fields.canpan.info/report/edit>

上記で登録したURLをご記載ください。